OZ Racing

オーゼットレーシング

50 years old

“革命”の兆し

NEW PRODUCT REPORT

photo: 古閑章郎
text: 塩見 誠
special thanks:OZ JAPAN https://www.ozracing.com

いわずとしれたイタリアのホイールメーカーであるオーゼットは、創業50年を迎えた。そのオーゼットが発売をしたのが、空気を積極的に利用するホイール、スーパーツーリズモ・アエロである。この新モデルを中心に、発売予定の新製品やスパルコ・ブランドの新製品を紹介していこう。

先進のコンセプトを提示する新モデル Superturismo Aero

Superturismo Aero-e

EV専用モデルも登場

世界のトップカテゴリーレースに携わる本物のDNA

1971年1月、シルヴァーノ・オゼッラドールとピエトロ・ゼンガミニ・クーパー用のホイールをつくったことからはじまったオーゼットの歴史は、すなわちモータースポーツ用ホイール開発の歴史でもある。

1985年には、フォーミュラ・マシンのトップカテゴリーとなるF1マシン用ホイールを開発し、1988年には市販車ベースでターマックだけではなくグラベル走行も行うWRCマシン用ホイールを開発。ゆえに、これまでに獲得したタイトルは200以上という実績を誇る。今シーズンのF1で言えば、メルセデスAMGやレッドブル、フェラーリなど多くのコンストラクターがオーゼット製ホイールを採用しており、WRCでは全チーム、GRヤリスもオーゼットのホイールを使っている。

» オーゼットジャパン株式会社
代表取締役
内山 晶弘 氏

「オーゼットは50周年を迎えましたが、オーゼットジャパンは今年で32周年となります。今後のプロダクトにもご期待ください」

さらに、電気自動車による次世代のモータースポーツ、フォーミュラEで使われている18インチホイールは、オーゼットがワンメイクサプライヤーとして全チームに供給しているものだ。つまり、オーゼットのホイールは、1000分の1秒を競うシビアさや強靭さなどを、モータースポーツの場をテストフィールドとして脈々と鍛えられてきたものとも言える。そうしたフィールドから新たに生まれてきたのが、世紀の大注目プロダクトとも言える『スーパーツーリズモ・アエロ』である。このモデルが、どれだけ凄いプロダクトなのかは、次ページで。

空気力学への探究心を具現化 … Superturismo Aero

スーパーツーリズモ アエロ

» Size & Price

SIZE	ET	H-P.C.D	PRICE（1本/税込み）
18×8.0	27/35/48	5 112	8万2500円
19×8.0	27/35/45/49	5 112	10万4500円
19×8.5	30/38/45/49	5 112	10万6700円
19×9.0	30/42	5 112	10万8900円
20×8.5	20/23/35/40/45	5 112	12万3200円

COLOR:STAR GRAPHITE

2021年6月販売開始

» 問い合わせ先
オーゼットジャパン
tel.053-469-5011 https://www.ozracing.com

“アエロフラップ”はスポーク間ごとにひとつのパーツとしてつくられていて、ホイールにしっかりと固定されている。表面の整流とともに、内部の熱を積極的に排出してくれる。

実際のF1用ホイールでは一体構造となっているアエロフラップ。微妙なアールの違いなどで効果に大きな差が生まれる。市販モデルは製造コスト面も含めて樹脂製としている。

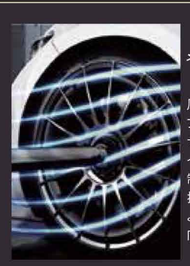
50年の歴史を経て極まるプロダクトビジョン

それではスーパーツリズモ・アエロの特長を詳しく見ていこう。というよりも、これはなんだ？　と、すぐに気付くのは、リムの内側に装備されたデバイスだろう。これは“アエロフラップ”と呼ばれているもので、素材は樹脂。ここ数シーズン、F1用ホイールでは、さまざまな空力的アプローチが試されていたが、その市販バージョンとして採用されたのがこの機構となる。

“アエロフラップ”が樹脂製なのは、デザイン再現性に優れていることと、軽さという部分から。空力はほんのちょっとした形状の違いで効果が大きく変わってくる。その誤差を無くすため、非常に小さな公差でのフラップ製造をドイツの専門メーカーに依頼し、それをホイールに固定している。当然その形状は、風洞実験によって得られたもの。ネーミングこそ『スーパーツリズモ』となっているのだが、この『アエロ』を登場させるにあたっては、フラップの部分だけではなく、スポーク形状も含めてのリデザインが施されている。それはスポーツホイールとしての強度と空力特性を、最大値でバランスさせるため。つまりはモータースポーツでのテクノロジーをフィードバックさせつつ、さらに進化したモデルということになる。

では、このフラップを装備することでどのような効果が得られるのか。それは、“ホイール内側から外側への積極的な空気の流出”という現象があげられる。それによりブレーキシステムが発する熱を冷却し、ブレーキ性能の変化を小さくできる。さらには、熱の影響によるタイヤ内圧の変化も抑制できる。まさに、新世代のスポーツホイールとも言うべき機能が追加された革命的なモデルなのだ。

セントラルロックカバーを装備したスポーティなフェイス。外すとすっきりした印象になり、ドレスアップ映えするフェイスに。センターオーナメントは別売り(2750円:税込/1個)。



空力性能を最大限に引き出す

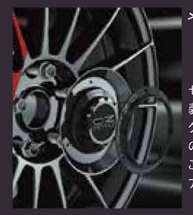
風洞実験によってフラップの形状やスポークのデザインを決定している。タイヤが巻き起こす乱流の制御にも効果的。空気抵抗も一般的なホイールより小さくなるため、燃費向上も…と想像できる。

ブレーキクーリング性能の確保

ホイールが回転することで内部の空気を外側に排出するため、ブレーキのクーリング性能がより向上する。タイヤ内圧管理にも有効なデバイスだ。

F1ホイールの技術をフィードバック

空気抵抗を大幅に低減する、というのはF1マシンにとっても重要なポイント。市販車用とするとき、軽量化と量産性を考え樹脂パーツの組み立て式とした。



画期的なセンターキャップシステム

セントラルロックカバーを装備することで、レーシングカーのセンターロック風のイメージを演出できる。これがスーパーツリズモ・アエロのデフォ。

ファイブダブルスポークのスポーツモデル

sparco wheels … Sparco RECORD

スパルコ レコード

センターパッケージをディスクデザインに巧みに取り込んだ、2×5スターデザインの『スパルコ・レコード』。スポークがリムエンドまで伸びているために、サイズ以上の大きさを感じさせてくれる。ボディサイズにこだわらずともチョイスできるデザインは、カスタマイズの第一歩としても最適。スポーティな雰囲気が、程よいバランスを保ってくれる。17インチサイズであってもボリューミーに見えるため、「ホイールは換えたいが乗り心地は悪くしたくない」というオーナーにもオススメしやすい。適度なスポーツテイストを表現しやすいというところも、ミニにピッタリだ。

Size & Price

SIZE	ET	COLOR	H-P.C.D	PRICE（1本/税込み）
17×7.5	27/35	MG	5 112	4万2900円
17×7.5	48	MG/GBK	5 112	4万2900円
18×8.0	35	MG	5 112	4万8400円
18×8.0	48	MG/GBK	5 112	4万8400円

COLOR : MG/MATT GRAPHITE、GBK/GLOSS BLACK

待望のレースホワイトモデルが登場

… Superturismo Evoluzione

スーパーツーリズモ エヴォルツィオーネ

スーパーツリズモ・エヴォルツィオーネは、“初代スーパーツーリズモ”、“スーパーツリズモGT”に続く、第3世代のスーパーツリズモといえるもの。ちなみにスーパーツリズモ・アエロは第4世代となる。そんなスーパーツリズモ・エヴォルツィオーネに、待望の新色となる、レースホワイトがラインアップされた。その名の通り、サーキットをはじめとするコンペティションのイメージが強いこのカラーは、スポーティさを見せたいオーナーにオススメといえるものだ。

Size & Price

SIZE	ET	H-P.C.D	PRICE（1本/税込み）
18×8.0	35/45/48	5 112	7万4800円
19×8.5	30/38/44	5 112	9万1300円
20×8.5	30/45	5 112	10万3400円

COLOR : GLOSS BLACK、RACE WHITE

Coming SOON

業界初！エレクトリックカー専用モデル

… Superturismo Aero-e

スーパーツーリズモ アエロ イー

スーパーツリズモ・アエロ以上に、積極的に樹脂パーツを使用し、ディンプル加工も含めてより一層、空気抵抗の低減を実現したのが『スーパーツリズモ・アエロ－e』というこのモデルだ。これから増えていくであろうEV車専用ホイールで、近日中の発売を予定している。ミニのピュアEVモデルにも、是非とも装着してみたいプロダクトだ。

Size

SIZE:19/20inch　　COLOR : STAR GRAPHITE

OZ Spa CEO
クラウディオ・ベルノーニ 氏

「50周年は記念日ではなく、私たちがホイールに込めてきた知識や経験、情熱をお伝えする機会と考えます。50年の歴史を経て、また新しい目標を設定し、実現するビジョンを追求し続けます」